

準備:

# 撮影当日 の対応

講師の中には、毎日少しずつ撮影する人もいれば、一度にまとめて撮影する人もいます。どちらの方法で撮影するにしても、撮影の準備にこのチェックリストをお役立てください。

## 撮影前

**スクリプトの読み合わせ** - 撮影前にスクリプトを声に出して読みましょう。不自然な言葉やフレーズがあれば修正します。

**撮影機器の準備** - マイクとカメラ(講師本人が出演する場合)を準備し、使い方に慣れておきましょう。撮影環境で音声テストを行い、エコーやその他の音声問題がないようにします。

**服装と背景を選ぶ** - どんな服を着るか、背景はどうするかを選びます。フォーマル、プロフェッショナル、楽しそうな雰囲気など、自分がどのように見えるのかを意識しましょう。

**テスト動画の撮影** - 実際の撮影環境で1分から3分のテスト動画を作成し、Udemyに提出してフィードバックをもらいます。

**ショットリストの作成** - スクリプトを見ながらカメラショットを計画します。背景やカメラアングル、撮影備品などを検討します(任意)。

## 撮影当日

**レクチャーを識別** - ビデオファイルを作成するため、各ショットの撮影前に、レクチャーの名前を付け、番号を付けておきます(例:「Pythonの学習、テイク3」)。

**準備する物** - メモリーカード、バッテリー、充電器の予備を手元に準備しておきましょう。

**撮影チェック** - レクチャーをいくつか撮影したら、撮影をいったん止めて音声や動画の品質、照明、映像が不鮮明ではないかなどをチェックしましょう。

**水分補給** - 水分をしっかり取って、トーンを一定に保ちましょう。

**ショットの記録** - 撮影したレクチャーや一番出来の良いショットなどをメモしておきましょう。

**ファイルの保存** - 適宜休憩を取り、撮影した画像をコンピューターに保存しましょう。

## 機器設置

- 1 キーライト 最も明るい
- 2 フィルライト 中程度の明るさ
- 3 バックライト 弱めの明るさ
- 4 カメラ

